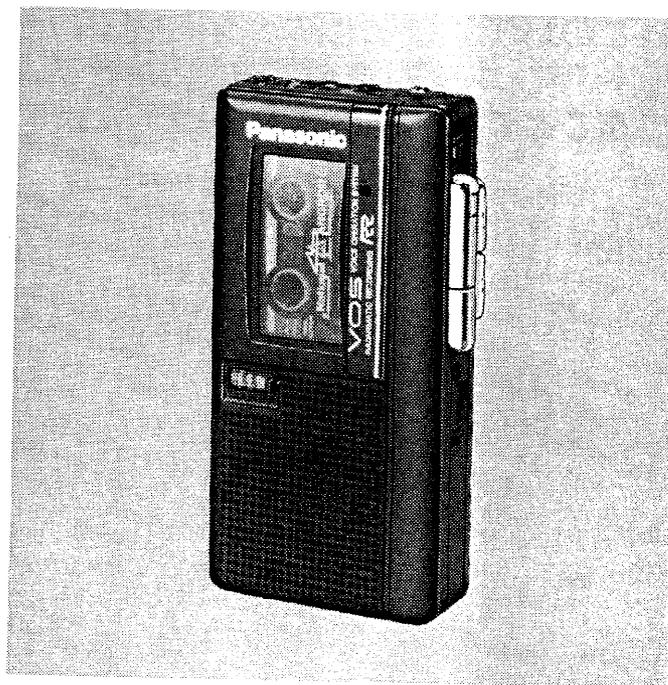


マイクロカセット™レコーダ

品番 **RN-122**

取扱説明書



Panasonic

保証書別添

- 取扱説明書と保証書は、よくお読みのうえ、大切に保管してください。
- 保証書は必ず「販売店名・購入日」等の記入を確かめて、販売店からお受取りください。

あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

このたびは、パナソニック「マイクロカセット™レコーダ」をお求めいただきまして、まことにありがとうございました。

付属品

単三形乾電池 2個

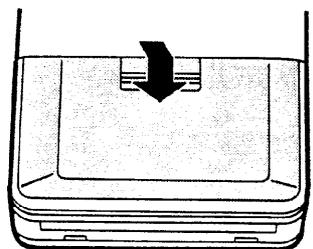
目 次

| | |
|--|----|
| 乾電池の入れかた | 3 |
| カセットの入れかた | 3 |
| 各部のなまえと働き | 4 |
| テープを聞くには | 6 |
| 録音するには | 8 |
| <small>ボイスオペレーション</small> VOS録音するには | 12 |
| 電源について | 14 |
| 安全にご使用いただくために | 16 |
| テープについて | 17 |
| 他の機器との接続のしかた | 18 |
| お手入れのしかた | 19 |
| 故障!?!とと思う前に | 20 |
| アフターサービスについて | 21 |
| 定格 | 22 |

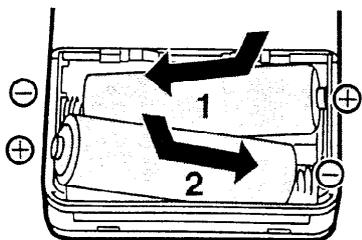
乾電池の入れかた

(電源について詳しくは **P14** をご覧ください。)

- 1 極性 (⊕ ⊖) を間違えないように入れる。



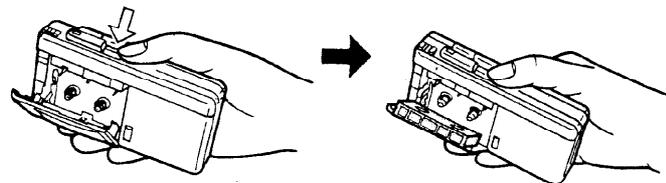
2



使用乾電池：単三形乾電池 2個

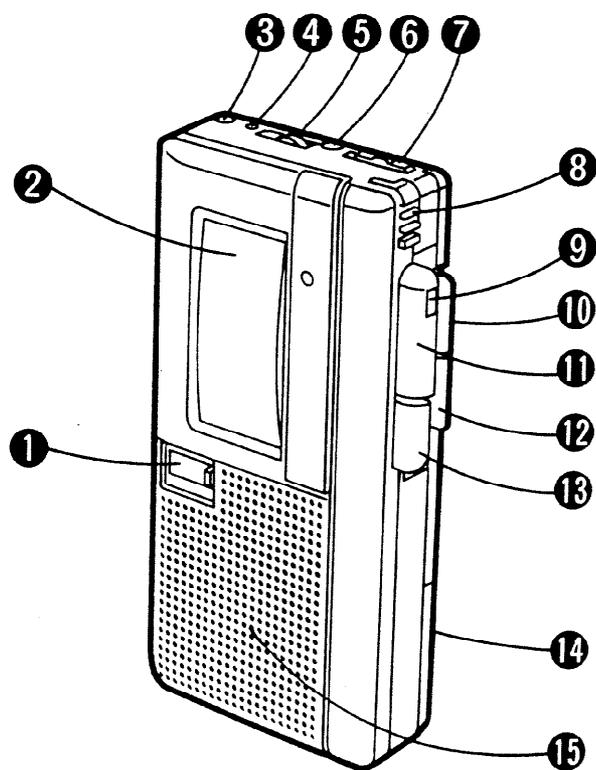
カセットの入れかた

ストップ イジェクト
STOP/EJECT



- 1 ^{ストップ} STOP/^{イジェクト} EJECT ボタンを押してカセットふたを開ける。
- 2 カセットを入れる。
- 3 カセットふたを閉じる。

各部のなまえと働き



- ①** カウンタ
COUNTER
(テープカウンタとリセットボタン)
テープの走行とともに数字が変わります。
リセットボタンを押すと“000”に戻ります。
録音のとき、数字をメモしておく便利です。
- ②** カセットホルダ
- ③** モニタ
MONIT 端子
イヤホンを接続します。
耳をあまり刺激しないよう、適度な音量でお楽しみください。
- ④** レーダーマチック
レコード レコーディング バッテリ
REC RR /BATT
(録音/電池)インジケータ
- ⑤** ボリューム ボイスオペレーション レベル
VOLUME/VOS LEVEL
(音量調整)つまみ
- ⑥** マイク
MICジャック

レーダーマチック
レコーディング トーン

⑦ RR / TONE (音質) 切換つまみ

録音時 : RR 切換……9 ページを参照してください。

再生時 -2 : TONE (音質) 切換

“H” (High) ……高音

“L” (Low) ……低音

高音のレベルが高く録音され、聞きにくいときは“L”に切換えてください。

マイク

⑧ MIC (内蔵マイクロホン)

レコード

⑨ REC (録音) ボタン

リワインド レビュー

⑩ REW/REV (巻戻し/くり返し) ボタン

プレイ

⑪ PLAY (再生) ボタン

ファストフォワード キュー

⑫ FF/CUE (早送り/頭出し) ボタン

ストップ イジェクト

⑬ STOP/EJECT (停止/カセット取出し) ボタン

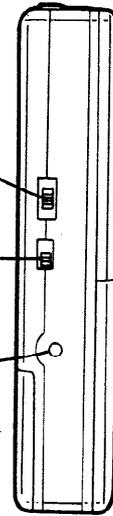
⑭ 乾電池ケースふた

⑮ スピーカ

16

17

18



ボイスオペレーション ポーズ

⑯ VOS/PAUSE (一時停止) / FAST PLAY セレクタ

ファスト プレイ

FAST PLAY

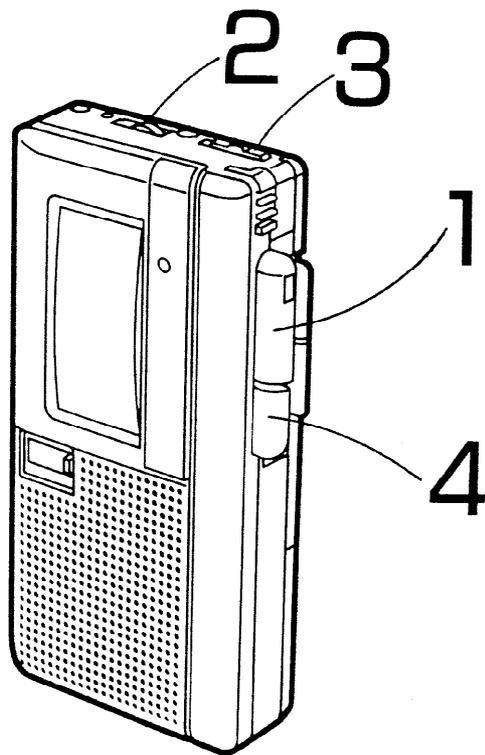
テープ スピード

⑰ TAPE SPEED 切換つまみ

⑱ DC IN (外部電源) ジャック

特殊品、

テープを聞くには



- 1 ^{プレイ}PLAY ボタンを押す。
- 2 音量を調整する。
- 3 音質を選ぶ。
- 4 停止するときは、^{ストップ}STOP/^{イジェクト}EJECT ボタンを押す。

録音したときと同じテープスピードに切換え 、カセットを入れてから操作してください。

再生中に誤って^{レコード}REC ボタンを押込まないようにご注意ください。

■サイレントオートストップ機能について

再生または録音中に、テープが終端までくると自動的にテープが止まります。

ボタンは復帰しませんので、電源は切れていません。必ずSTOP/EJECTボタンを押してください。

- 早送り、巻き戻しのときは、サイレントオートストップは動作しません。テープ終端でそのまま放置せず、必ずSTOP/EJECTボタンを押して、電源を切ってください。

■ファストプレイ機能

再生中にFAST PLAYセレクトを“FAST PLAY”にすると、再生速度が20%速くなります。

■FF・CUE(早送り・頭出し)

押込むとロックし、テープを早送りします。止めるときはSTOP/EJECTボタンを押します。再生中に押すと、押している間モニタ音を聞きながら早送りできます。(キュー)

■REW・REV(巻戻し・くり返し)

押込むとロックし、テープを巻戻します。

止めるときはSTOP/EJECTボタンを押します。

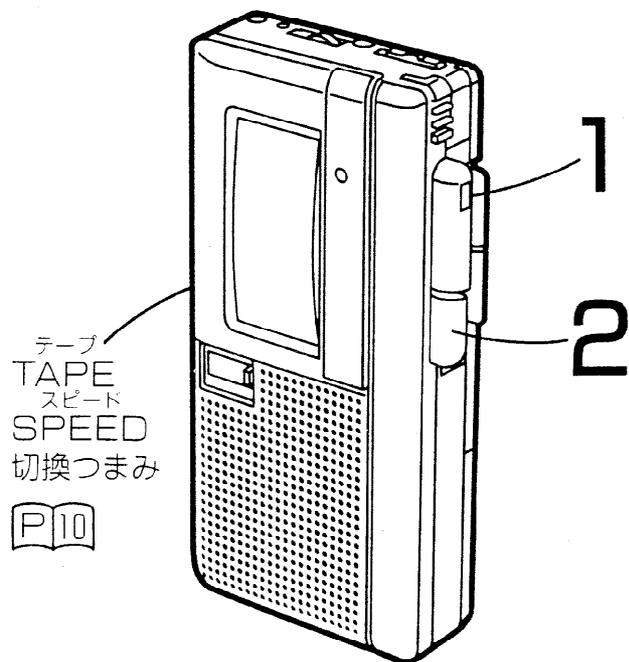
再生中に押すと、押している間キュルキュルというモニタ音を聞きながら巻戻しできます。(レビュー)

■PAUSE(一時停止)

録音や再生中にVOS/PAUSEセレクトを“PAUSE”にすると、テープ走行を一時的に止めることができます。再び録音や再生をするときは、“OFF”にしてください。

- “PAUSE”状態では、電源は切れていません。使用しないときはSTOP/EJECTボタンを押して電源を切ってください。

録音するには

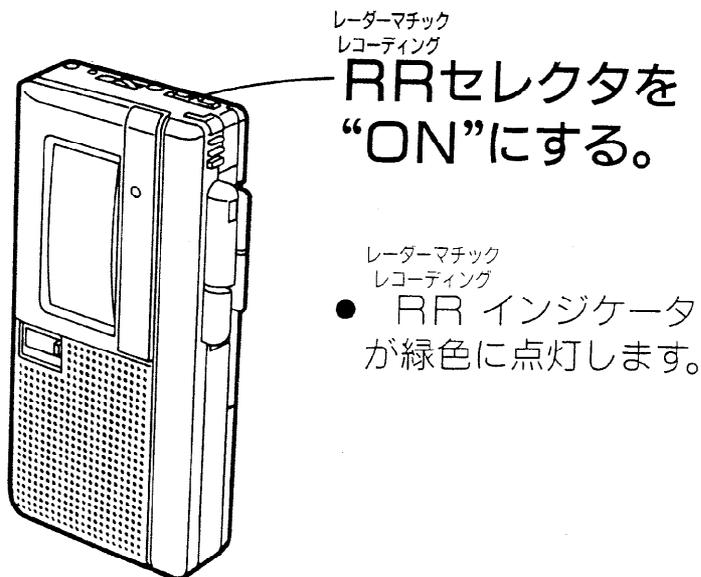


- 1 RECボタンを押す。
レコード バッテリ
●REC/BATTインジケータが
赤色に点灯します。
- 2 停止するときは、ストップSTOP/
イジェクトEJECTボタンを押す。

自動録音調整方式ですから、録音レベルの調整は必要ありません。

レーダーマチック録音

本機はレーダーマチックレコーディング機能を備えていますので、学校での講義やオフィスでの会議などで遠くの人の声をクリアに録音することができます。



人の声以外(音楽など)を録音するとき
は、レーダーマチック録音をしないで
ください。

■クイックレビューについて

録音中に、その内容をすぐ聞きたいとき、
リwind レビュー
REW/REV ボタンを押すと、レコード
REC ボタンだけが元の位置に戻り、テープが巻戻
されます。
指を離すと、いま録音した内容を聞く（再
生）ことができます。

■モニタについて

録音している音をイヤホンで聞くことが
できます。
ボリューム
VOLUMEつまみで、モニタの音量を調整
してください。

■ ^{テープ}TAPE ^{スピード}SPEED 切替つまみ

用途に応じてテープスピードを選んでください。

“2.4” ……RT-N60テープを使って往復60分の録音ができます。

通常はこの位置でお使いください。

“1.2” ……RT-N60テープを使って往復120分の録音ができます。

- 長時間の録音が必要な場合は、この位置でお使いください。
(ただし、騒音が多い場所など良好な録音ができない場所では“2.4”位置にしてください。)音楽録音には適しません。

1.2cm/秒で録音すると、他のマイクロカセットレコーダで再生したときに音質が変わることがあります。このような場合には、2.4cm/秒での録音をおすすめします。

■ 後追い録音のしかた

再生中に、REC ^{レコード} ボタンを押込んで録音することができます。録音したものを一部修正したいときなどに便利です。

■ 消去のしかた

録音済みのテープに録音すると、前の録音は消され、新しい録音のみが残ります。

豆知識

レーダーマチックの3つの働き
遠くの人を聞きやすくするため、
レーダーマチック録音は、遠くの人と
近くの人との声の差を小さく、遠くの人
の声とノイズの差を大きくするように
工夫されています。

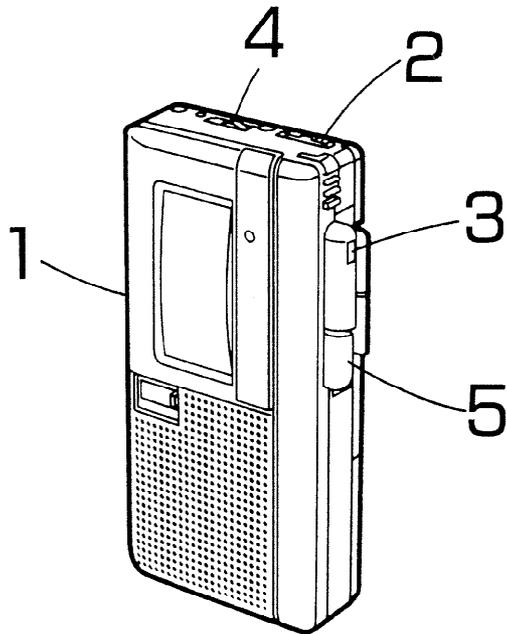
技術的には、以下の3点です。

- ①マイク感度をアップし、全体の音を大きくする。
- ②自動録音調整回路（AGC）の働きにより、近くの人をひずまないようにする。（近くの人声はほとんど元の大きさ）
- ③人声を中心とした中域重視の音質で高低域のノイズを低減する。
 - 録音の条件によっては、十分な効果が得られない場合があります。

ボイスオペレーション

VOS録音するには

ポーズの操作をしなくても、マイクに入る音声の大きさを感知して、テープを走行、停止させる機能です。



ボイスオペレーション ポーズ

VOS/PAUSEスイッチを“VOS”にすると、マイクに音声が入っているときテープが走行し、静かになると約4秒後に止まります。

ボイスオペレーション

- 1 VOSセレクトを“VOS”にする。
- 2 レーダーマチック録音をするとき、レーダーマチック
レコーディング RRセレクトを“ON”にする。
- 3 レコード RECボタンを押す。
 - レーダーマチック
レコード レコーディング バッテリー
 - REC/ RR BATTインジケータが点灯します。
 - 通常録音……………赤色
 - レーダーマチック録音…緑色
- 4 ボイスオペレーション VOSレベルを調整する。
 - レコード バッテリー
 - REC/BATTインジケータが点灯すると、テープが走行し、録音していることを示します。
- 5 ストップ 停止するときは、STOP/イジェクト EJECTボタンを押す。

■VOSレベルの調整

周囲の雑音や声の大きさなど環境に合わせて最適位置を決めてください。

| 調整のめやす | ボイスオペレーション レベル VOS LEVEL つまみ |
|---|------------------------------------|
| 通常はこの位置に合わせて録音してください。 | 4 ↔ 7 |
| 大きな音声だけ録音します。録音したい音声でも小さいとテープが走行せず、録音できないことがあります。 | 1 ↔ 3 |
| 小さい音声も録音します。録音したくない音声（周囲の雑音など）でもテープが止まらず録音されることがあります。 | 8 ↔ 10 |

- ボイスオペレーション レベル VOS LEVEL つまみが“0”位置では録音されません。

ご注意

- 外部マイクを接続したときにもボイスオペレーション録音ができます。使用するマイクによって、レベルが変わりますので、^{ボリューム}VOLUMEつまみを最適位置にしてください。
- 音声が入ってテープがスタートしたとき、立上がり部分の音声がわずかに途切れることがあります。

電源について

電源 1 乾電池電源

乾電池の入れかたは、**P3**をご覧ください。

■乾電池の取替時期は

テープ速度が遅くなったり、音がひずんだり小さくなったときは、全部新しい乾電池に取替えてください。

- 長時間続けて使用するより、電源を切って、しばらく間をおきますと乾電池の寿命を延ばすことができます。

■バッテリーチェックのしかた

録音中、REC/BATT レコード バッテリー インジケータの点灯状態で、乾電池の消耗度がわかります。

| | | |
|----------------|---|---------------------------------|
| 明るく点灯している |  | 乾電池は正常ですからそのまま使えます。 |
| 消えている点灯しているが暗い |  | 乾電池は消耗していますから全部新しい乾電池に取替えてください。 |

■乾電池使用上のご注意

- 長時間使用しないときや、いつもAC電源で使用するときは、乾電池の漏液による損傷を防ぐため乾電池を取出しておいでください。
- 乾電池は使いかたを誤ると破裂や破損、液もれのおそれがあります。次のことは必ずお守りください。
- 新しい乾電池と使用した乾電池は混用しないでください。
- 乾電池は充電式ではありません。
- ⊕プラス ⊖マイナスは正しく入れてください。
- 同じ種類の乾電池を使用してください。
- 火の中への投入や、ショート（短絡）、分解、加熱しないでください。
- 使用しないときは電源を確実に切ってください。

電源2 AC電源

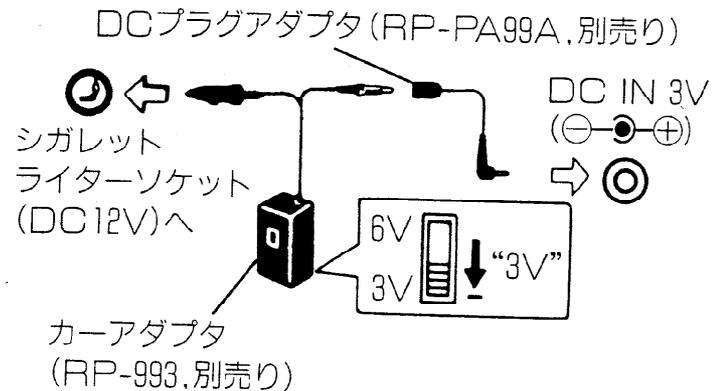
ACアダプタ（別売り）を接続すると、自動的にAC電源に切り替わります。



- ACアダプタは必ず指定のアダプタをご使用ください。市販のアダプタには極性が反対のものがあります。
- 乾電池電源に切り替えるときは、必ず本機側のプラグをはずしてください。そのままでは乾電池電源に切りかわりません。
- 本体とACアダプタは少し離してお使いください。近づけ過ぎるとハム（ブーンという音）が出ることがあります。

電源3 カー電源

カーアダプタ（別売り）を接続すると、自動的にカー電源に切り替わります。



- カーアダプタは、必ず指定のアダプタをご使用ください。市販のアダプタには極性が反対のものがあります。
- トラック、バスなどの電源は24Vですから使用できません。必ず12V電源の自動車でご使用ください。

安全にご使用いただくために

- 次のような場所での使用や放置は避けてください。
 1. 閉めきった自動車内・暖房器の付近
 2. 風呂場など湿気の多い所
 3. ほこりの多い所
 4. 金属製の机の上、電卓やたばこの銀紙などの金属の近く
- 本機を落としたり、強い衝撃をあたえないでください。
- キャッシュカードや定期券などの磁気カード類、録音テープ、時計などを近づけないでください。

お手入れのしかた

本機が汚れたときは、乾いた布でふいてください。汚れがひどいときは、布を水でしめらせるか、石けん水を少し布につけてふいてください。ベンジンやシンナーでふいたり、殺虫剤をかけますと、「ひび割れ」や「くもり」を生じることがありますので避けてください。

テープについて

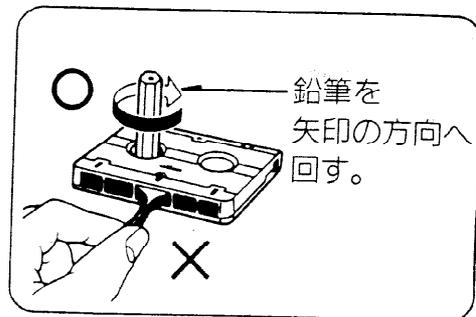
マイクロカセットテープは“MICROCASSETTETM”の表示があるものをご使用ください。

■取扱いかた

テープが機械に巻きつくのを防ぐために、次のことをお守りください。

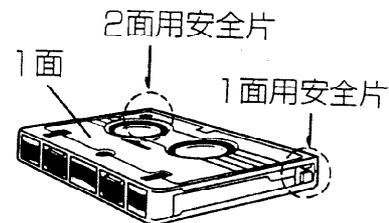
- カセットの開口部からテープを絶対に引出さないでください。
- テープにたるみがあるときは、下図のようにして取除いてください。
- テープに巻きむらがあるときは、早送りや巻戻しをしてからご使用ください。

万一、テープが巻きついたときは、そのままの状態でお求めの販売店にご相談ください。



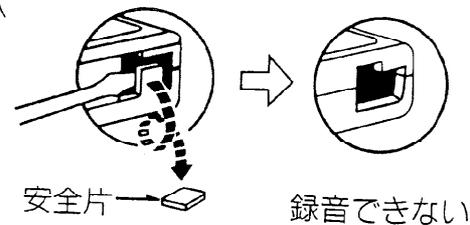
■誤消去防止について

マイクロカセットテープは、1面と2面に“安全片”が各1個ついています。

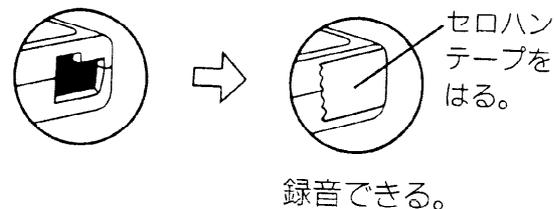


●大切な録音を誤って消さないために

小形のドライバなどで折取る。

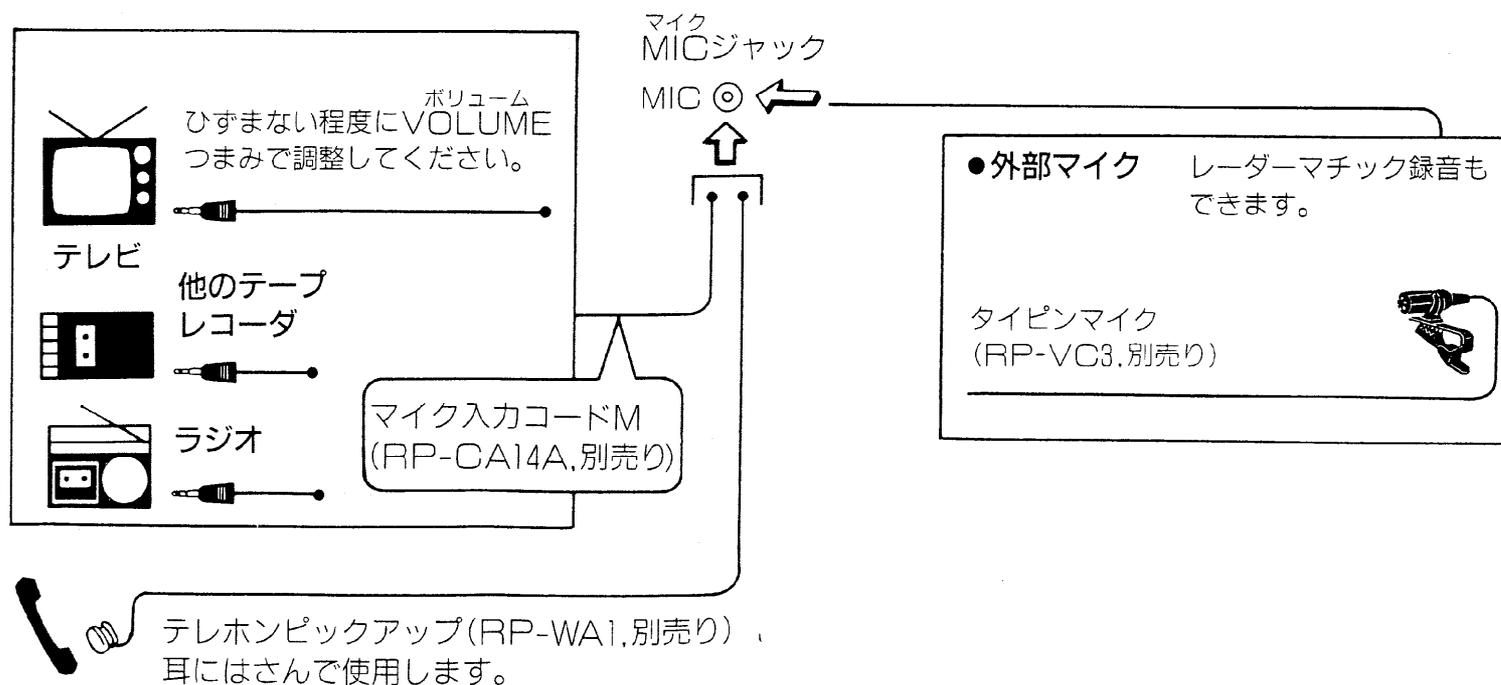


●再び録音するには



他の機器との接続のしかた

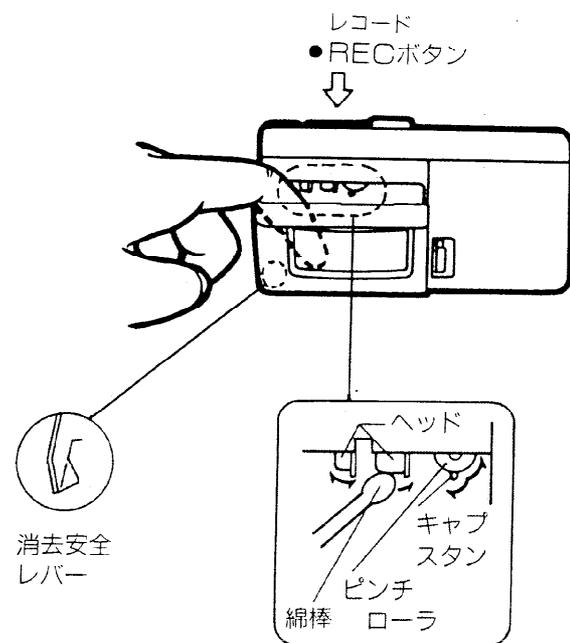
- 詳しくは、各アクセサリの取扱説明書をお読みください。
- ^{マイク}MICジャックにプラグを接続すると、内蔵マイクロホンからの録音はできません。



お手入れのしかた

■ヘッド部のそうじ（約10時間ごと）

- 消去安全レバーを押しながら、^{レコード}RECボタンを押込むと、ヘッド部が出てきます。
- 汚れがひどいときは、クリーニングキット（RP-919, 別売り）をお使いください。



ご注意

- 本機には絶対に注油しないでください。注油しますと故障の原因になることがあります。
- ヘッドにドライバなどの鉄類や磁気を帯びたものを近づけないでください。性能が悪くなります。

■キャビネットのそうじ

乾いた布でふいてください。汚れがひどいときは水で布をしめらすか、石けん水を少し布につけ、よくしぼってふき、あとはからぶきしてください。

ご注意

- ベンジンやアルコール、シンナーなどの溶剤でふいたり、殺虫剤をかけたりしないでください。
- 化学ぞうきんでこすったり、長時間接触させたままにしておきますと、変質する場合がありますので、使用しないでください。

故障!? と思う前に

修理を依頼する前に、もう一度次のことを確認したのち、それでもなお異常の場合には、購入店へご相談ください。

テープが走行しない。(回転しない。)

- 乾電池（単三形）が正しく入っていますか？
- 乾電池が消耗していませんか？
- 乾電池の電源に切換えるときACアダプタのプラグを本体から抜いていますか？
- ボイスオペレーション ポーズVOS/PAUSEセレクトが“PAUSE”位置になっていませんか？

ボイスオペレーション録音時、テープが止まらない。

- ボイスオペレーション レベルVOS/LEVELつまみが“10”に近くなっていませんか？

ボイスオペレーション録音時、テープが走行しない。

- ボイスオペレーション レベルVOS/LEVELつまみが“0”に近くなっていませんか？

早送り・巻戻しが遅い。(回転ムラ)

- 乾電池が消耗してませんか？
- カセットテープの回転が重くありませんか？

再生音が小さい、録音・再生音が割れる。高音が出ない。前の音が出る。

- 乾電池が消耗していませんか？
- ヘッド部が汚れていませんか？

レコード RECボタンが押込めない。

- カセットが入っていますか？
- カセットの安全片がついていますか？

本機を0℃前後から暖かい場所へ急に移したとき、正常に動作しないことがあります。これは、本機の動作部に露が発生したためで、60分程で正常に戻ります。

アフターサービスについて

■保証書（別に添付してあります。）

保証書は必ず「販売店名・購入日」等の記入を確かめて販売店から受取っていたとき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

保証期間—ご購入日から1年間。

■修理を依頼されるとき

“故障!?”と思う前に”の項に従って調べていただき、直らないときは、次の処置をしてください。

●保証期間中は

おそれ入りますが、製品に保証書を添えて、お求めの販売店までご持参ください。保証書の規定に従って販売店で修理させていただきます。

●保証期間が過ぎているときは

お求めの販売店に、まずご相談ください。修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。

■補修用性能部品の最低保有期間

本機の補修用性能部品（機能維持のために必要な部品）の最低保有期間は、製造打切後6年です。

この期間は通商産業省の指導によるものです。

■アフターサービス等について、 おわかりにならないとき

お求めの販売店または最寄りの「ご相談窓口」（別紙ご参照）にお問合わせください。

定格 (2.4cm/秒)

トラック方式：モノラル
録音方式：DCバイアス
消去方式：マグネット消去
周波数範囲：500～3500Hz
入力端子：マイク M3
出力端子：モニター;8Ω
実用最大出力：160mW(EIAJ)
電池持続時間：約5時間(EIAJ録音時)
(ナショナルネオ《黒》
R6P使用時)
電 源：乾電池;DC3V
(単三形乾電池×2個)
AC;100V 50/60Hz
(別売りACアダプタ
RP-AC3A使用)
カーバッテリー;DC3V(別売
りカーアダプタRP-993と
DCプラグアダプタ
RP-PA99A使用)

最大外形寸法：66(幅)×119(高さ)
×25.5(奥行)mm(EIAJ)

重 量：約180g(乾電池を含む)

★この定格は性能向上のため予告なく変更
することがあります。

便利メモ (おぼえのため、記入されると便利です。)

| | | | |
|---------------|----------|----|--------|
| ご購入年月日 | 年 月 日 | 品番 | RN-122 |
| ご購入店名 | 電話 () - | | |
| 最寄りの ご相談窓口 | 電話 () - | | |

松下電器産業株式会社 オーディオ事業部

〒571 大阪府門真市松生町1番4号 ☎ (06) 909-1021

RQT0890-1S F1290t3081